



新国立劇場

平成25年度 文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ



大学生・短大生・専門学校生・高校生 必見!

日本オペラの不朽の名作を2,100円で鑑賞するまたとない機会!!

オペラ

【全1幕/日本語上演】

夕鶴

團伊玖磨

新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演

つうの哀しみが胸深く染みる…国民的人気を誇る日本オペラの代表作

「夕鶴」は「鶴の恩返し」として有名な民話で、木下順二が戯曲化した演劇も名作中の名作です。

そして、巨匠作曲家・團伊玖磨がオペラ化した「夕鶴」は、1952年の初演以来海外の上演も含めて800回を超え、今や世界中で愛され親しまれる作品です。

「高校生のためのオペラ鑑賞教室」として上演するこの公演に、

今回特別に大学生、短大生、専門学校生の皆様にもご覧いただけることとなりました。

わかりやすく、懐かしく、感動的なオペラ「夕鶴」をぜひ観に聴きにお越しください。

指揮:石坂 宏	演出:栗山民也
美術:堀尾幸男	衣裳:植田いつ子
照明:勝柴次朗	振付:吾妻徳彌
再演演出:澤田康子	舞台監督:菅原多致弘
出演	30日 31日
つう	石橋栄実 針生美智子
与ひょう	望月哲也 大槻孝志
運ず	吉川健一 栴 貴志
惣ど	久保和範 北川辰彦

児童合唱:百合学院小学校

管弦楽:大阪フィルハーモニー交響楽団

芸術監督:尾高忠明

<あらすじ> むかしむかし、雪深い村の純朴な青年与ひょうは美しい妻つうと幸せに暮らしていた。つうが織る千羽織は高く売れると評判だ。運ずや惣どにそそのかされた与ひょうは、都で高く売れるために、もっと布を織るよう、つうに強要する。与ひょうは、つうに織っているところを覗き見しないよう言われていたが、我慢できずに覗いてしまう。それは鶴が羽根を織り込む姿だった。翌日、すっかりやせ細ったつうは千羽織を与ひょうに渡すと別れを告げ、空に飛び立っていく。

新国立劇場

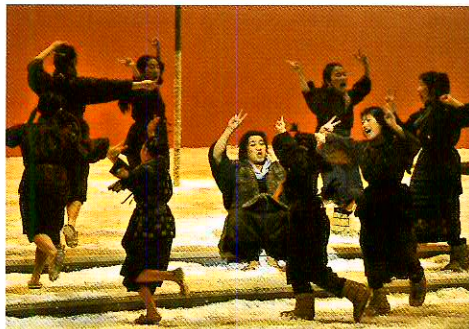
検索

<http://www.nntt.jac.go.jp>



新国立劇場オペラ公式facebookページ

<http://www.facebook.com/nnttopera/>



全席指定 2,100円(税込) ※要学生証

前売開始:9月23日(月・祝)10:00~ 残席がある場合に限り、当日券として4,200円で一般(大人)の方も購入可。大学生以下2,100円。

2013年 **10/30**(水) 2:00 **31**(木) 1:00 会場: **あましんアルカイックホール**

●予定上演時間:約2時間20分(休憩含む) ●開場は開演の45分前です。

主催: 尼崎市 / 公益財団法人 尼崎市総合文化センター / 新国立劇場 助成: 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション 協賛: ローム株式会社

協力: 公益財団法人 日本教育公務員弘済会 兵庫支部